



各 位

2023年5月8日

会社名 株式会社 アルメディオ
代表者 代表取締役社長 高橋 靖
(コード番号 7859 スタANDARD市場)
問合せ先 取締役 経理・情報開示・IR 担当
関 清 美
電話番号 042-511-0500 (代表)

特別損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期期末におきまして、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。また、特別損失の計上および最近の業績動向を踏まえ、2022年11月2日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容

当社は、2022年5月13日に公表しました「中期経営計画2022」の達成に向けた取り組みを推進し、事業構造改革のスピードを上げ、機能性材料メーカーへの転換を進めております。

ナノマテリアル事業において、本格採用の道筋が見えてきた顧客への対応を強化した結果、最終段階テストやスケールアップテストを行う段階まで進展しておりますが、短・中期的には顧客への販売が本格化すると見込まれる時期や販売量などに不確実性を伴う可能性があります。このことから回収時期および回収可能性を厳格に検討した結果、事業用資産において固定資産の減損処理を実施し、154百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

ナノマテリアル事業は計画での販売時期や販売量には至っておりませんが、有償サンプル品の販売を行い、国内外共に幅広い業種へのサンプル出荷件数が増加しております。また、産業分野の半導体装置で使用する部材での採用など、本採用が見込まれる分野が広がっております。さらに、本格生産拠点である福島双葉工場の稼働や品質管理体制の構築により、本格生産が可能となりました。

今後も当社がこれまでに蓄積してきた知見・ノウハウなどの優位性を生かし、更なる拡大・発展に取り組んでまいります。

2. 2023年3月期通期の連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,022	百万円 355	百万円 400	百万円 187	円 銭 10.49
今回修正予想（B）	4,940	535	569	164	9.17
増減額（B－A）	△81	180	169	△23	
増減率（％）	△1.6	50.8	42.2	△12.3	
（参考）前期実績 （2022年3月期）	3,266	74	97	△39	△2.65

(2) 修正の理由

連結子会社・阿爾賽(蘇州)無機材料有限公司において、2022年11月2日に公表しました連結業績予想数値で使用した人民元の為替レートに比して、2022年12月末の換算レートが円高に推移したこと等により、売上高が計画を下回る見込みとなりました。営業利益については、仕入価格上昇率の縮小や収益改善策等の成果による売上原価の減少、設備投資に対する減価償却費計上月の遅延による費用減少、さらに利益率の高いカテゴリーの製品売上が伸長していること等から、前回公表した数値を上回る見通しとなりました。

以上のことから、セグメント売上については断熱材事業では71百万円減少、アーカイブ事業は13百万円増加、インダストリアルソリューション事業は5百万円減少、ナノマテリアル事業は18百万円減少する見込みとなりました。一方、セグメント利益については、断熱材事業では90百万円、アーカイブ事業は30百万円、インダストリアルソリューション事業では32百万円、ナノマテリアル事業は17百万円増加する見込みとなりました。

以上の結果、前回予想から売上高は81百万円減少、営業利益は180百万円増加、経常利益は169百万円増加する見込みとなりました。なお、「1. 特別損失の計上およびその内容」に記載のとおり特別損失を計上すること等の要因により、親会社株主に帰属する当期純利益は23百万円、1株当たり当期純利益は減少する見通しとなりました。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上